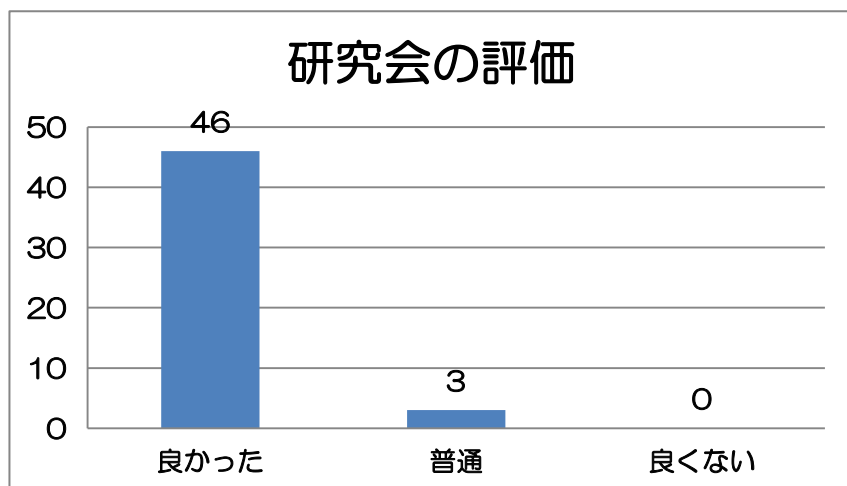


【第7回ちた医療・介護ネットワーク研究会 アンケート集計】

開催日 2019年 8月29日(木) 14:00~15:30

特別講演 『カンフォータブル・ケア』

医療法人 北仁会 旭山病院 看護師長 南 敦司 先生



(1-1) 講演についての評価

たいへんわかりやすかったです。

南先生の例え話が「わかる②」とゆう所で、いいなと思いました。わかるところがいいとゆうより、対処がわからない患者様にとっての対処の仕方を覚えた所は良かった所でした。楽しかったです。

自分でやれていると思っていたことが実はできていなかったことが理解できました。

認知症の方の立場に立ち、気持ちになり自分の行っているケアを見直す機会になりました。

事例をいれわかりやすかったです。

とても分かりやすくシュミレーションも入れて頂きイメージしやすかったです。

ケアの重要性、できていると思っているが足りていない部分。勉強になりました。

笑顔、目線を合わせてから、と講演で改めて考えていかないといけないと思いました。接遇面も自分だけでなくチーム全体で指摘もあっていけたらと思いました。

もう一回自分の介護を丁寧に見直したいと思いました。先生の言葉に感動させていただきました。遠くからありがとうございました。

笑顔、敬語、優しくふれる、目線を合わせることが大切であるというのがよくわかりました。

カンフォータブルケアについて気を付けることを知れて勉強になった。本当に少しのことで患者がこちよく生活できることが実感できた。

認知症はターミナルケア。とても心に衝撃を受けました。どれだけ今まで出来ていたのだろう…と。少しずつ実践できるように頑張ります。

講演を聞いていて認知症の方の顔が浮かびました。笑っているかな？と考えさせられました。笑顔を引き出せるケアを心掛けたいと思いました。

南先生の熱いご講演が印象に残りました。今一度現場の看護ケアを振り返り、病棟全体で認知症患者に対して”快”のケアが提供できるよう考えていきたいと思いました。

一つ一つの言葉が自分の行動を見直すきっかけとなりました。次の患者様に同じ対応をする時には今回の学びを思い出し良い行動がとれるようになると思います。

今まできをつけなきゃ、と思っていたことばかりでしたが、どれも中途半端だったな、と反省しました。中途半端に気がつけた所でどこかで不快と感じられるケアをしてしまったら快のケアよりもそちらの印象が勝ってしまうのだと思いました。せっかく良いケアをしよう頑張っているのだから、その努力を無駄にしないように徹底的にやろうと考え直しました。ありがとうございました。

現場でいかせるノウハウ・考え方が詰まっていた
現場職ではないですが、高齢者を支援する仕事として、日頃の言動等を考えていきたいと思いました。
具体的な対応のお話しですぐ実行できそうです。訪問や電話での対応で役立てさせていただきます。
実演や実例が多く理解しやすかった。
介助する側の気持ちを再度見つめなおしたいと思います。
加フォ-ﾀﾞﾌﾞﾙｱという言葉ははじめてききましたが、とてもわかりやすく研修を受けることができました。
加フォ-ﾀﾞﾌﾞﾙｱは認知症の人だけではなく誰にでもやらなければいけないケアだと思いました。自分の仕事に対する姿勢を改めて考えさせられました
楽しい講演でした
チームで行うケアが大切だという事が良くわかりました。
チームで加フォ-ﾀﾞﾌﾞﾙｱが行えるのが理想ですがマンパワーが不足している状況でなかなか難しいなあと思っていた。自分の考えを改めるいい機会になりました。
グループホームでのケア、チームで取り組んでいかなければいけないなと実感しました。施設で勉強会行います。
自分が自分の大切な人が…確かに立場におきかえて勉強した内容が生きてくるとつくづく感じました。ありがとうございます。
具体的ですぐに活用できる内容でした。CDを確認して事業所の研修に取り入れます。
加フォ-ﾀﾞﾌﾞﾙｱの技術を理解することができました。相手への関心を持つことの大切さを今後の業務に生かしたいと思います。ありがとうございました。
スタッフ側の都合・視点での介護になりがちであることが根本的に間違っている。人手不足で片づけてしまいがちな対応に陥りがちだがやれることがある。
10項目、知っていることがばかりだと思ったが、説明を聞いて根拠とすることが良くわかりました。やれているつもりになっていたこともあり、さらにいいケアの仕方がわかりました。
10個の技術を実際に演じながら学ぶことができたこと、覚えやすく伝えやすい
講師の話し方がうまく話しがずっと入りわかりました。明日からすぐに使っていきたいと思います。
加フォ-ﾀﾞﾌﾞﾙｱの技術、基本的な笑顔・敬語という内容でした。前説で脳の話があり、とてもわかりやすくよかったです。
普段の利用者様にしている自分の対応を見直す機会になりました。
何回聞いても日々反省させられる研修です。そして明日からよし頑張るぞっと思える。
わかりやすく良かったです。何回聞いてもためになります。
加フォ-ﾀﾞﾌﾞﾙｱを取り入れたいが上手に説明しないと誤解を招くことも沢山あるなあと思いました。
今まで出席した中で一番、わかりやすく身近に感じられた話でした。深く感動しすぐに実践しようと思います。
認知症に対しての関わり方について思い直すと反省しないといけない所だらけでした。今後は意識し行っていきたい。
笑いのある講義で聞きやすかったです。
わかりやすく楽しく学べた。
ケアする側の技術を学び、対利用者に対する接し方、関り方をし、周辺症状を悪化させないようにしていけるようにしたい。対応の技術を知れてよかった。感情コントロールできることが人を幸せな気持ちにできる。
(1-2)講師・参加された先生方へのご質問がございましたらご記入ください。
感情のコントロールができない状態の時に代わってもらふスタッフがいない時はどうしたらいいのでしょうか。
敬語の部分で子供や赤ちゃんに対してでも敬語なのかな？という所が気になりました。子供も何歳から変わっていくのかわからないです。